

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	形態機能学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	後期 月・金2限	教室名	406教室
担 当 教 員	細貝 正江	実務経験と その関連資格	鳥取大学医学部および関連医療専門学校において、基礎医学(生理学)を担当し、神経生理学に関する研究を行ってきた。 博士(医学)、日本生理学会評議員			
《授業科目における学習内容》 この科目では、環境の変化にすばやく反応する機能として、筋の収縮による運動機能、思考や記憶を司る中枢神経機能を学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 【教科書】 「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 【副読本】 「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」医学書院						
《授業外における学習方法》 講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題						
《履修に当たっての留意点》 積極的な取り組みを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経膠・神経細胞について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 神経組織:その構造と機能 1) 神経膠 2) 神経細胞			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造と機能について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 中枢神経系 1) 脳の構造と機能-1			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造と機能について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	脳の構造と機能-2			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系を保護する組織・脳の障害について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2) 中枢神経系を保護する組織 3) 脳の障害			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄について理解でき、説明できる。	教科書	教科書	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4) 脊髄			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 末梢神経系 1) 末梢神経の構造		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2) 脳神経		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨髄神経と神経叢について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3) 脊髄神経と神経叢 4) 自律神経系		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の発生・発達・老化・脳・神経のメカニズムについて理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4. 神経系の発生・発達・老化 5. 脳・神経のメカニズム		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の機能・分類・長骨の機能・骨の形成、成長、および改造について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 骨の機能・分類・長骨の機能 1) 骨の形成、成長、および改造		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹の骨格について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 体幹の骨格		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	体肢の骨格について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 体肢の骨格		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節について、骨格系の発生・発達・老化について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4. 関節 5. 骨格系の発生・発達・老化		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の構造・分類・機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	6. 筋肉の構造・分類・機能		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨格筋の呼称・骨格筋の肉眼的解剖学について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	7. 骨格筋の呼称 8. 骨格筋の肉眼的解剖学		